

企業戦略 (4) 短期と長期 \*

企業の長期戦略

メーカーにとって長期戦略とは？

短期：生産設備が固定している期間

長期：生産設備が可変な期間

長期における利潤最大化：

たとえば，平均費用の低下をもたらす「技術」の選択

総費用と平均費用†

・「技術」の選択 = 「総費用曲線」の選択

技術 1 総費用曲線：供給量  $x$  と総費用の関係

総費用関数  $TC_1 = 100 + x^2$

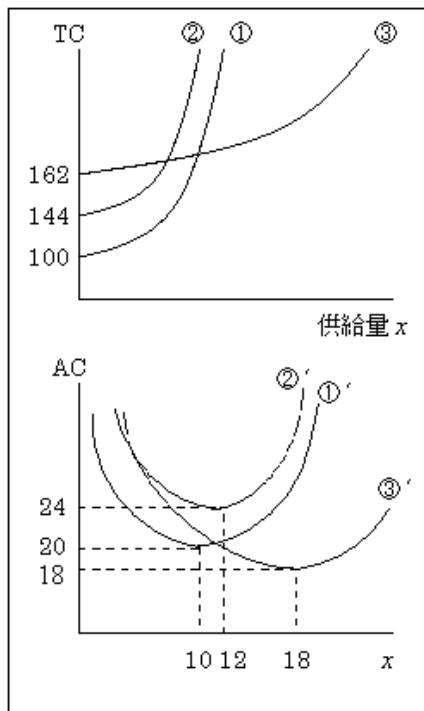
平均費用 = 総費用 / 生産量

$$AC_1 = \frac{TC_1}{x} = \frac{100 + x^2}{x} = \frac{100}{x} + x$$

供給量 $x$	1	2	...	9	10	11	...
平均費用 AC	101	52	...	20.1	20	20.1	...

技術 2 総費用関数  $TC_2 = 144 + x^2$  ②  
 平均費用関数  $AC_2 = \frac{144}{x} + x$  ②

技術 3 総費用関数  $TC_3 = 162 + \frac{x^2}{2}$  ③  
 平均費用関数  $AC_3 = \frac{162}{x} + \frac{x}{2}$  ③



(参考)「相加平均・相乗平均」  
 $a > 0, b > 0$   $a + b \geq 2\sqrt{ab}$   
 ただし，等号が成立 (つまり， $a + b$  が最小の値をとる) のは，  
 $a = b$   
 のときである。

平均費用の最小値 = 長期の供給価格 (長期の供給曲線)

【問題 8】

企業活動における (特に，生産活動における) 短期と長期の違いを説明せよ。

金融では，「短期 = 1 年未満，長期 = 1 年以上」を慣例的に使うが，それとは区別せよ。

企業が生産技術を選択する際，何を基準に考えるか。2 つ挙げよ。

企業が長期の利潤最大化を目指すとき，消費者にとってのメリットは何か？

\* Copyright©2003 藤生 裕

† ここでの議論は「長期平均費用」(平均費用曲線の包絡線)を求めているわけではなく，3つの技術(総費用関数)に対応する平均費用曲線(平均費用関数)を求めているにすぎない。